

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和5年度～令和6年度）
研究開発課題名	悪性中皮腫に対する新規ドラッグデリバリーシステムを用いた個別化治療の開発
代表機関名	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学
研究開発代表者名	田中 一大

総合評価：良い

【評価コメント】

本研究は、予後不良な中皮腫に高発現するオキシトシン（OXTR）受容体を標的に、OXTR 阻害剤 X および OXTR-人工核酸の開発を DDS 研究者と進める中で、予期せぬ課題発生のために研究項目の一部が中止あるいは未達成はあったが、総合的に連携研究を着実に進め、DDS 技術に対する知見を深化させるなど一定の成果を得ている。

ただし、イオン液体化 OXTR 阻害剤 X では、薬物動態研究者による組織濃度解析の結果、腫瘍内濃度の急激な低下が認められており、DDS の検討、異なる投与経路や用法・用量の検討等を行い、OXTR 阻害剤 X 販売企業とも協議して医薬品開発に進められることを期待する。また、OXTR-人工核酸では、DDS を LNP に切り替えただけの初期検討段階であり、さらなる詳細な検討を行い、最適な核酸医薬品製剤開発に向け着実に取り組むことを望む。

以上